



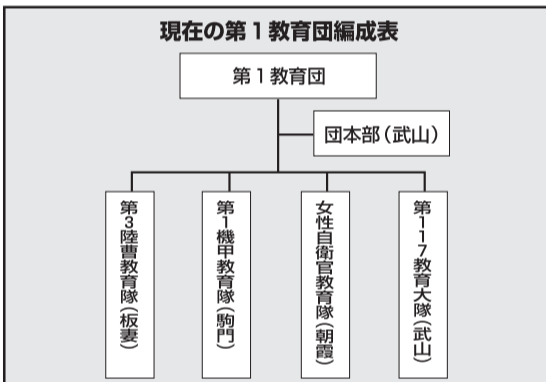
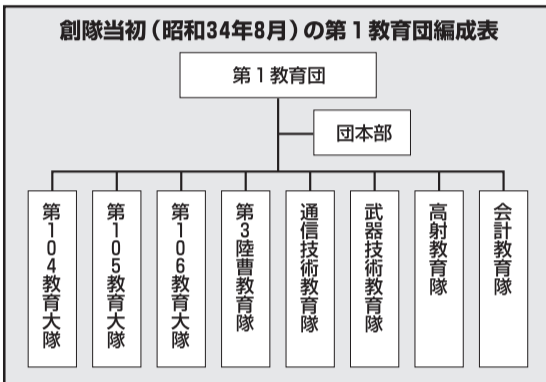
陸上自衛隊 第1教育団 創隊50周年

第1教育団の歴史

| | |
|----------|--|
| 34年 7月 | 第1教育団編成要員異動完 |
| 8月 | 第1教育団編成完結 |
| 10月 | 伊勢湾台風に伴う災害派遣 |
| 35年 3月 | 第105大隊板妻へ移駐 第106大隊駒門へ移駐 第3陸曹教育隊新町から駒門へ移駐 |
| 36年 6月 | 逗子市沼間地区崖崩れ復旧に伴う災害派遣 |
| 12月 | 第105大隊板妻から武山へ移駐 |
| 37年 6月 | 第3陸曹教育隊駒門から板妻へ移駐 |
| 8月 | 第1機甲教育隊編成完結 通信教育中隊朝霞へ移駐 |
| 38年 3月 | 三浦市雪害除雪災害派遣 |
| 39年 8月 | 第106大隊廃止 |
| 43年12月 | 婦人自衛官教育隊編成完結 |
| 44年 8月 | 第117教育大隊編成完結 |
| 47年 7月 | 豪雨による災害派遣 (神奈川県山北市) |
| 49年 7月 | 台風8号に伴う横須賀・座間市への災害派遣 |
| 8月 | 通信技術教育隊廃止 |
| 10月 | 高射教育隊廃止 |
| 50年 1月 | 三浦市大火に伴う災害派遣 |
| 3月 | 会計教育隊廃止 |
| 7月 | 武器技術教育隊廃止 |
| 51年 4月 | 一般陸曹候補生学生教育開始 |
| 61年 3月 | 団本部庁舎落成 駐屯地司令業務を少年工科大学に移管 |
| 平成 8年 7月 | 陸曹基礎英語講座の第1教育団編成表 |
| 10年 5月 | 第1教育団後援会発足 |
| 11年 8月 | 玄倉川水難事故に伴う災害派遣 |
| 14年 3月 | 第104・105大隊廃止 神奈川隊区長の指定解除 新編成完結 |
| 15年 4月 | 婦人自衛官教育隊から女性自衛官教育隊に名称変更 |
| 16年10月 | 新潟県中越地震に伴う災害派遣 |
| 19年 7月 | 新潟県中越沖地震に伴う災害派遣 |
| 20年 4月 | 一般陸曹候補生及び陸曹候補士に変わり 一般陸曹候補生学生教育開始 |



部隊を巡視する第1教育団長・越川嘉明1陸佐



昭和45年11月20日に実施された「団射撃競技会」64式小銃5コチーム(前期教育隊・第1機甲教育隊・第3陸曹教育隊)、M1ライフル5コチーム(団本部・各後期教育隊)で競われた。結果は、64式小銃は105教育大隊、M1ライフルは高射教育隊が優勝した。



昭和53年 一般曹候補生入隊式(第117教育大隊)

昭和34年8月13日、午前10時をもって編成を完結し、第1教育団が誕生。創隊当初武山駐屯地に配置したのは、団本部・第104教育大隊・第105教育大隊・高射教育隊・会計教育隊・武器技術教育隊・通信技術教育隊。板妻駐屯地には(昭和35年駒門駐屯地より移駐)第3陸曹教育隊(基幹要員693人)が配置され、新隊員および陸曹候補生の前期・後期教育を担当していた(教育能力は、新隊員前期1000人、後期1605人、陸曹候補生4200人の計3025人)。

昭和37年に第1機甲教育隊、43年に婦人自衛官教育隊(平成15年に女性自衛官教育隊に名称変更)、44年に第117教育大隊が編成完結される等、数々の部隊改編を経て、現在に至る。

50年間の歴史の中で、これまで約35万人を超える隊員を全国の部隊に輩出している。



昭和43年12月20日 婦人自衛官教育隊創隊式(朝霞駐屯地)



昭和49年 東富士演習場での訓練風景(第1機甲教育隊)



昭和49年7月、台風8号および梅雨前線の影響により集中豪雨となった。そのため、横須賀市において崖崩れ、道路決壊等の被害が発生し、神奈川県知事の要請により、7月8日～21日まで14日間にわたり延べ人員23,602人、延べ車両1980両をもって災害派遣活動を実施した。

「50周年」大きな節目
第1教育団(団長・越川1佐)は5月31日、武山駐屯地において「第1教育団創立50周年記念日行事」を挙げてきた。

好天に恵まれた当日、蒲谷亮「横須賀市長をはじめとする部内外より多数の来賓、地域住民等約3500人が駐屯地を訪れた。」

記念式典において越川団長は「教育団隊員一同、創立50周年という大きな節目に立ち、改めて原点に立ち返り伝統を継承するとともに、時代の変化と要請に適切に対応して、これからの日本、陸上自衛隊を背負って立つ立派な隊員の育成に全身全霊をもって努力することを誓う」と式辞を述べた。

続く観閲行進では、観閲部隊指揮官(副団長・米村1佐)を先頭に今年4月に入隊した新隊員等を中心とする徒歩部隊が洗練とした行進を披露、続いて90式戦車等30両の車両部隊による堂々の観閲行進が行われた。

観閲行進に続いて、自衛隊体操や隊歌斉唱、模擬戦闘訓練等、入校中の学生・新隊員らによる教育部隊ならではの若さと躍動感溢れる訓練展示を披露し会場から大きな拍手が送られた。

その他、空挺隊員による自由降下、方面音楽隊による野外コンサート、第31普通科連隊による太鼓演奏等、各種アトラクションで武山駐屯地は終日賑わいを見せた。



昭和34年、編成担任官の第16新隊員教育隊長は、管理支援の武山駐屯地業務隊長(駐屯地司令兼務)とともに編成業務を推進した。同年7月13日副団長要員・田口1佐以下10人が武山駐屯地へ異動完了し、7月20日団長要員・真下1佐が着隊した。8月13日、10時に編成を完結。ここに第1教育団が誕生した。



創隊当時の団本部隊舎

